

事業所における自己評価総括表

事業所名	LITALICOジュニア巣鴨教室 保育所等訪問支援
事業者向け自己評価表作成日	2026年9月19日(土)
自己評価総括の担当者	福山未来

	実施期間	回答者数	対象者数
保護者評価	2026年7月1日(水) ~ 2026年8月10日(月)	19	25
従業員評価	2026年7月23日(木) ~ 2026年8月10日(月)	3	9
訪問先施設評価	2026年6月17日(水) ~ 2026年7月30日(木)	12	19

各評価を受けて事業所内で分析した強みと弱み

事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること
<ul style="list-style-type: none">・保護者の意向やお子さまの特性に応じた丁寧な説明・情報共有により、密なコミュニケーション体制を構築している。・訪問先施設と事前に運用方針をすり合わせ、専門的なアドバイスを通じて現場での指導方針の統一を図っている。・2名体制による効率的な時間活用や日次の情報共有、研修・スーパーバイズ体制を整え、チーム全体で丁寧なお子様に合わせた支援を提供している。	<ul style="list-style-type: none">・支援開始時における訪問先施設(学校・園)への目的説明や引き継ぎ、および多忙な時間帯を避けた面談日程調整に課題がある。・訪問支援を通じた訪問先施設のお困りごと解消の実感値にばらつきがあり、支援効果のさらなる可視化と連携強化を要する。

過去の取り組みや課題の振り返り

工夫していることや意識的に行っている取組等	事業所として考えている課題の要因等
<ul style="list-style-type: none">・朝礼・終礼や日次・週次での打ち合わせを徹底し、職員間での情報共有とチームでの支援を意識している。・訪問支援開始前に必ず訪問先施設のルールや方針を確認・理解し、配慮した支援を展開している。・2名体制によるスケジュール運用を実施し、1人あたり30分~1時間の観察時間を安定確保している。・支援計画作成時のアンケートを通じ、保護者との共通理解や意向把握に努めている。	<ul style="list-style-type: none">・訪問支援直後の休憩時間や移動の合間に話し合いを行おうとしたため、訪問先の業務繁忙と干渉していた。・入学時や担当者交代時における訪問先への目的周知・引き継ぎが標準化できていなかった。

さらなる充実と改善への取り組み

さらに充実を図るための取組等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
<ul style="list-style-type: none">・育成スタッフによる定期的なスーパーバイズや個別ケースの検討会を増強し、指導員の専門性と支援の質を底上げする。・ツール等を積極的に活用し、保護者および訪問先施設との連絡共有スピードと視覚的な分かりやすさを向上させる。・効率的な巡回計画を維持・改善し、手厚い個別観察と質の高い間接支援の両立を図る。	<ul style="list-style-type: none">・訪問先職員の負担軽減のため、放課後など時間を確保できる時間帯への振り返り・相談スケジュールの変更を個別調整する。・訪問開始時の事業説明を徹底し、学校・園との初期の連携プロセスを強化する。